浄 土 寺 だより

派舎
寺精
願本
本根
宗宗
真真
土見
浄石

ともしび

平成30年11月号　*Vol60*　発行日　１８１１１２
〒６９９－４６２１
島根県邑智郡美郷町粕渕３５４
浄土寺 門信徒会
TEL　0855―75―0064　FAX　0855―75―0264

月

十一月(二十 二十一日)　報恩講
親鸞　世間　評価
願　生

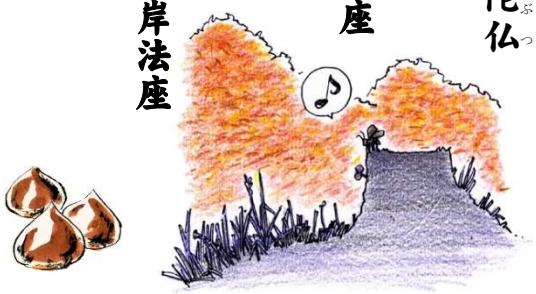
十二月(十六日)　仏婦報恩講(歳末法座)
愚痴　身　念仏
恥

一月(十五 十六日)　御正忌法要
南無阿弥陀仏
毎日　初事

二月(十六日)　初法座
生　悩　死　悩
生死　解決　仏法

三月(二十一日)　春彼岸法座
一番言
一番聞

四月(二十 二十一日)　永代経法要
釈迦
私　出



主 行事

平成三十年度

十二月　仏婦報恩講(十六日)
　　歳末法座と兼ねる
　　大晦日(三十一日)除夜の鐘つき
　　晩十一時半から

平成三十一年度(2019年度)

一月　元旦修正会(元旦)年始午前十時より
　　総代会(三日)
　　御正忌(十五日)晩大逮夜
　　午後七時より
二月　御正忌(十六日)
　　初法座(十六日)
　　仏婦総会(二十四日)
三月　春彼岸法座(二十一日)
　　門信徒会役員会
四月　永代経法要(二十日～二十一日)
　　岡本広樹 師
五月　門信徒総会　二十一日　十時
　　降誕会法座(十九日)初参式
六月　四季講(十八日)
　　藤丸智雄 先生
七月　安居会(十六日)
八月　盆法座(二十日)
九月　秋彼岸(二十三日)
　　前住職・前坊守追弔法要
十月　芋法事(十六日)仏婦例会も兼ねる
十一月　報恩講(二十日～二十一日)
　　渡邊幸司 師

リビング法話「大悲のこころ」

住職　西原真公

今年は四月に地震、七月には大雨と島根県、ここ美郷町でも大なり小なり被害がありました。島根県外ではもっと大きな災害があちらこちらで発生しました。今でも復旧のメドが立たず、現在も不安な生活を強いられています。あらためて命を亡くされた方々にお悔やみを申し上げると共に被災に遭われた方々にお見舞い申し上げます。そうした中、全国から多くの方がボランティア作業に汗を流し活動されています。『すごいなぁ、素晴らしいなぁ』と思いながらも、自分は言い訳をして何もしない(できない)私がいました。お恥ずかしいことです。

阿弥陀さまはお誓いになりました。

「あなたを浄土に生まれさせたら、その身体や心に不思議なはたらき（神通）を得させ、迷いの衆生を自在に救えるようにしよう」

『無量寿経』に説かれる阿弥陀さまの四十八願の第五願からは、このような誓願が説かれています。

例えば、

天眼通＝あらゆる苦悩のいのちを見落とさない眼の力。

天耳通＝あらゆる苦悩のうめき声を聞きもらさない耳の力。

他心通＝あらゆる苦悩の心のうちを知り尽くす力。

神足通＝苦しむいのちのもとへ、自在に飛んでゆける足の力・・・。

あなたの苦しみが私の苦しみ。何とかその苦しみを和らげ、安らぎを与えたい・・・。そんな「慈悲」の願いに生きてこそ、「真実に生きた」と言えるのでしょう。

けれども、私たちの眼や耳や足には、限界があります。

時間がたつにつれ、全国ニュースでも報じられる度合いが少なくなっていくのを見て、ある布教使の先生の厳しい言葉を思い出しました。

「見たくないもの、聞きたくないものは、見ない、聞かない。私たちは『他人事』をつくりながら生きています」

私も、自分の家族や友人が、よその人より大切なのです。その意味では、私はこの度の災害も「他人事」としていたのかもしれません。日々の営みの方が大事だから・・・。

どれほど被災者に同情しようとも、いのちにランクをつけて生きるほかない私たちの「慈悲」は、範囲の限られた「小さな慈悲」でしかありません。

親鸞聖人は、「自分に人を救う力があるなどと、思い上がってはならない」という自戒を、常に持っておられました。晩年には、長男・善鸞さまを義絶することになりましたが、自分には、わが家族を救う「小さな慈悲」すらないと、おのれの無力をかみしめられたのではないでしょうか。

けれども、そのように無力な私たちこそ、阿弥陀さまの「大悲」の願いの現場です。

「仏心とは大慈悲これなり」

「大悲」とは、『他人事を持たない心』のことです。阿弥陀さまには「自分と関係のないいのち」など存在しません。土砂や水に流され亡くなった人々のいのち。大切な家族を一瞬にして奪われた遺族の悲しみ。今も不自由な生活を送る被災者の不安。救助・復旧作業にあたる人々の辛労・・・・・・。すべてのいのちを隔てなく包み、一人一人の苦悩の人生に無上の尊厳を与え、いのち終えたら、無力な私たちを、阿弥陀さまと同じように、自在に人々を救える「大悲」のはたらきに転じてくださる真実の言葉が、「なもあみだぶつ」でした。

予想だにしない悲しみに見舞われる世界が、この娑婆です。突然やってくる災難の前に立ちすくみ、おろおろと涙するほかないのが、私たち凡夫です。けれども、この悲しみの大地にこそ、阿弥陀さまの声は響きわたっています。南無阿弥陀仏のよび声となって。

▽▲▽▲▽　**お知らせ**　▲▽▲▽▲

納骨堂入所募集中！

浄土寺では昭和四十二年以来、持仏堂を納骨堂として兼用し、今日まで多くの方にご利用頂いております。現在、76基中17基の**空き**があります。まだまだ余裕がございますのでご検討してみて下さい。

又、この春合同納骨所も完成しました。興味、又はご希望がありますればお気軽にお尋ねください。墓地も数カ所空き地ができました。ご検討下さい。

門信徒会長が替わりました
新会長　門手功汎さんに決まる

今年度、門信徒会の再編成を行い、新たな組織を構成しました。その中心となる門信徒会会長に総代の門手功汎さんが就任されました。これまでは総代長と門信徒会長の役割が同じでしたが、これからは浄土寺の門信徒会事業は会長を中心に活動していきたいと思います。総代長の景山良材さんには今後も浄土寺の柱として、どっしりと見守っていただきたく存じます。

会　長：門手功汎さん
副会長：小林公司さん
事務局：井上俊宏さん（会計担当）
　　安田英雄さん（庶務担当）
監　事：置名修二さん
　　土居哲也さん
総務部会　　部長：景山長二郎さん
仏教壮年部会　部長：小林公司さん
事業部会　　部長：品川久三さん

新会長挨拶

この度、門信徒会会長に就任しました、門手功汎です。今年総代になったばかりで、いきなり会長に任命され戸惑っております。まだお寺のこと、門信徒会のことも何もわかっておらず不安ばかりですが、住職と共に新体制となった浄土寺門信徒会をより一層盛り上げて行きたいと思っています。皆さまのご協力　何卒よろしくお願いします。

景山町長退任
新町長に嘉戸隆さん！

九月二十五日、突然　景山良材町長の辞任が報道されました。景山良材さんは浄土寺の総代長でもあり、お寺としても大変心配しました。体調不良の為、長期療養が必要とのこと。六年間、美郷町のため町長の激務を遂行されました。今はゆっくり体を休めて下さい。町長お疲れ様でした。有り難うございました。

そして、新たに町長に立候補されたのは嘉戸隆さんです。九月三十日、みごと当選されました。

嘉戸さんは粕渕出身であり、浄土寺の御門徒でもあります。お父様は元総代であり、お母様も元仏教婦人会の会長を務められ、今もお寺のことには率先してご協力頂いております。隆さんも小学生時代は毎回日曜学校に参加して下さいました。

お寺としてもこの度の町長出馬はとても心強く、頼もしく、嬉しい限りであります。今後の町政も期待しているところです。美郷町・浄土寺共々よろしくお願いします。

四季講

今年は六月十二日に四季講を開催しました。四季講とは石見地区の有志僧侶四人が中心となり、年四回開催しています。昨年から龍谷大学真宗学教授で山口出身の武田晋先生にお越しいただき、七高僧である道綽禅師を学びました。20数名の方々が熱心にお聴聞されました。

深野良治コンサート

五月二十日初参式のあと、今年は降誕会法座の代わりに降誕会コンサートを開催しました。演奏は、江津市在住のシンガーソングライター深野良治さん。粕渕と縁のある方です。

とても優しい歌声でみなさん時には目を潤ませながら聴いて、心が温かくなるコンサートでした。また来年もお願いしたいですね。

第六回グラウンドゴルフ大会

今年は六月二十七日（水）快晴の中、門信徒の皆様と美郷町防災公園で第六回浄土寺杯グラウンドゴルフ大会を開催しました。今年は三瓶からも参加していただき、三十四名でプレーしました。毎回初心者の方も参加頂き、ベテランさんの中に混じって楽しくプレーしています。表彰式、閉会式は浄土寺本堂で行い、向拝（ごはい）で記念撮影。回を重ねる度に賑やかになっていきます！

粕渕寺小路歴史ロマン夜市

七月二十一日（土）、寺小路をメイン会場として、粕渕連合自治会主催で歴史ロマン夜市がありました。浄土寺も会場となり、スポ少の野球チームのパフォーマンス、浄土寺コーラス隊の合唱、そして山陰教区の住職さん達が結成したバンド、スペシャル坊ズのコンサートを行いました。コンサートは大盛況で皆さん全身を使ってリズムをとり、境内が音楽と一体となりました。熱気ムンムンの一夜となりました。来年も今年以上に盛り上がることを楽しみにしています。

第二回浄土寺ゴルフコンペ 開催

十月十日(水)、美郷町内の方も多数参加頂き、総勢17人で浄土寺ゴルフコンペを開催しました。浄土寺コンペを楽しみにしてくださる方もたくさんいらっしゃり、恒例の行事となりそうです。表彰式は浄土寺で行い、そのあと庫裡で懇親会を開き、大いに飲み、語り、楽しいひとときを過ごしました。来年も開催します！

第三回佐波組グラウンドゴルフ大会

今年も、十月十二日(金)に佐波組でのグラウンドゴルフ大会を開催しました。浄土寺聞信仏婦だけでなく、沢谷の相愛仏婦も参加し、吾郷地区、別府地区からもたくさん参加して頂き、参加者は37名でした。この輪が美郷町全体に広がり、佐波組の活動が活発になることを期待しています。

初参式　五月二十日 日

宗祖降誕会法要（親鸞さまのお誕生お祝い法座）に当たり浄土寺本堂に於いて浄土寺聞信仏教婦人会の主催で、（赤ちゃんから二歳くらい対象）が五月二十日（日）に行われました。

赤ちゃんの手形足形の記録採取やお勤めがあり、みんなでケーキを食べてお祝いしました。

今年は

置名　結蘭（おきな　ゆら）ちゃん、
井田　巽（いだ　たつみ）ちゃん、
安井　琳子（やすい　りんこ）ちゃん、
烏田　陽介（からすだ　ようすけ）ちゃん、
日高　朝陽（ひだか　あさひ）ちゃん

五名のお参りでした。ありがとうございました。来年も是非、仏縁に会う初参式をお受け頂けますよう、仏婦一同お待ちしています。

永代経懇志上納　方

【平成三十年十一月一日現在】

（平成三十年四月から平成三十年十一月まで）

慈満院釋光恵(多久美都枝)施主　高畑　多久　勲　殿
釋高明(石田高恵)施主　奥山　石田　豊　殿
釋廣勝(波多野敏廣)施主　九日市　波多野　毅　殿

忝なくお受けし教化の資とさせて戴きます

永代経懇志とは故人が今生でお念仏のお育てを頂き、浄土へ往生した証（あかし）として、形見を遺（のこ）すための上置きの懇志です。

勿論、亡き人の永代に亘る読経の御布施ではありますが、当山では上納懇志のすべては聞法道場である本堂の維持、仏具荘厳に当てられています。故人の倶会一処の「願い」が永代に鳴（ゆ）り響き、子々孫々まで「お念仏のいのち」が繋がれて往く事になるからであります。

除夜会の案内

今年も十二月三十一日午後十一時半より除夜の鐘つきを行います。境内には約二〇〇**本の竹灯籠**を灯します。本堂で温かい「甘酒」を振る舞いますので、是非お参り下さい。そして阿弥陀さまに年賀の挨拶をして新しい年の出発をしていきたいものです。

十二月三十一日　午後十一時三〇分より一時まで　除夜会

二〇一九年一月一日午前十時より修正会をします。